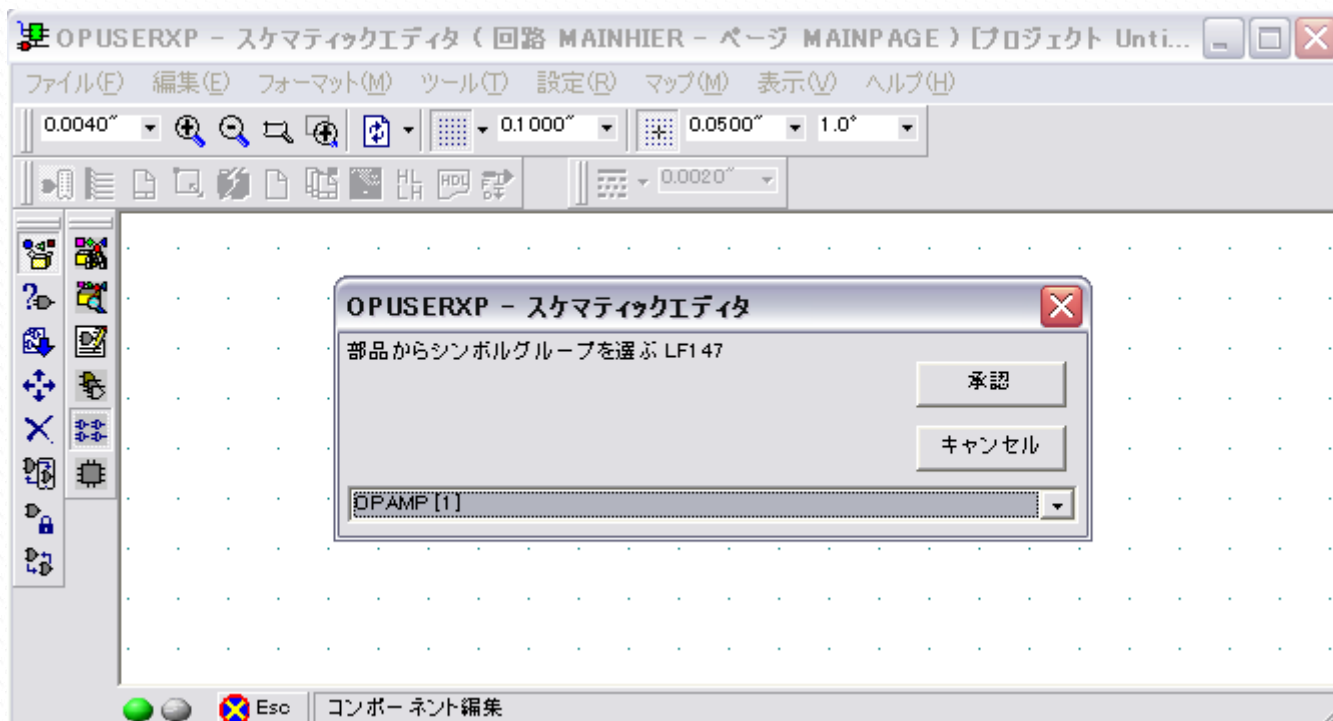
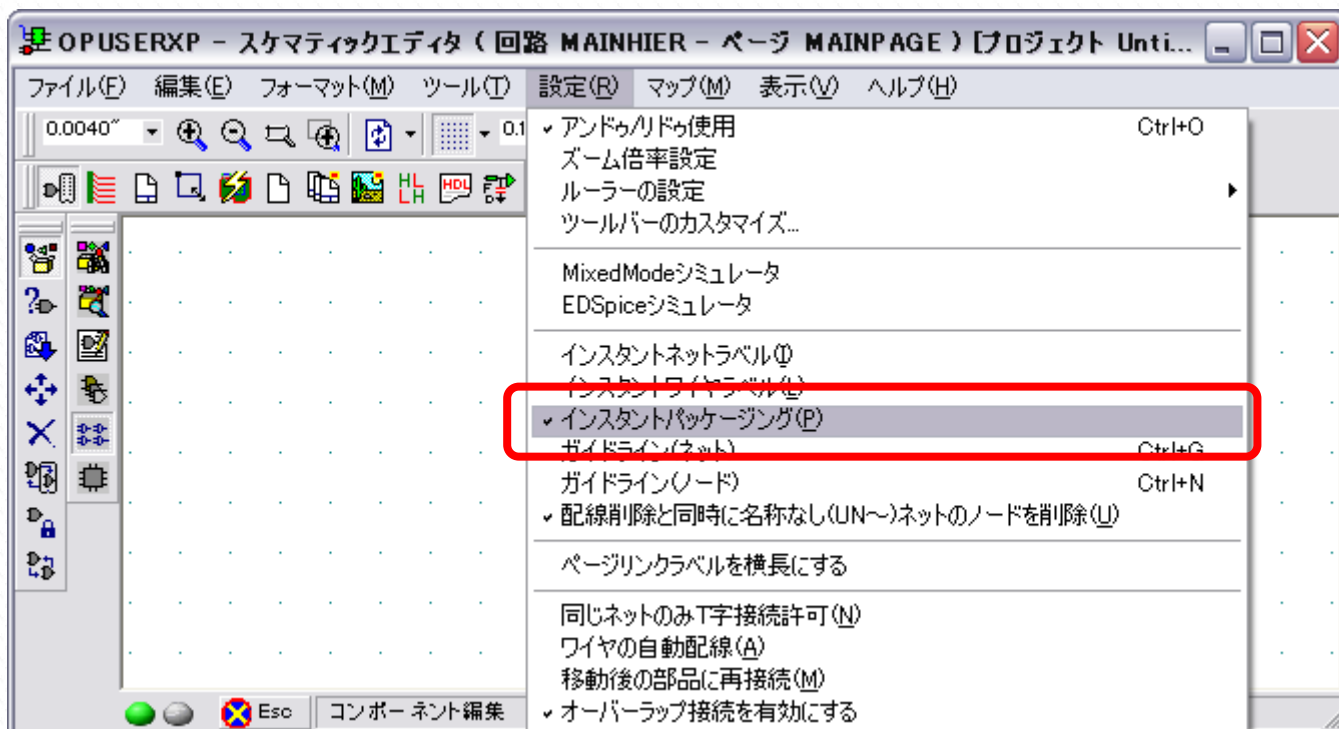


# 1. インスタントパッケージング

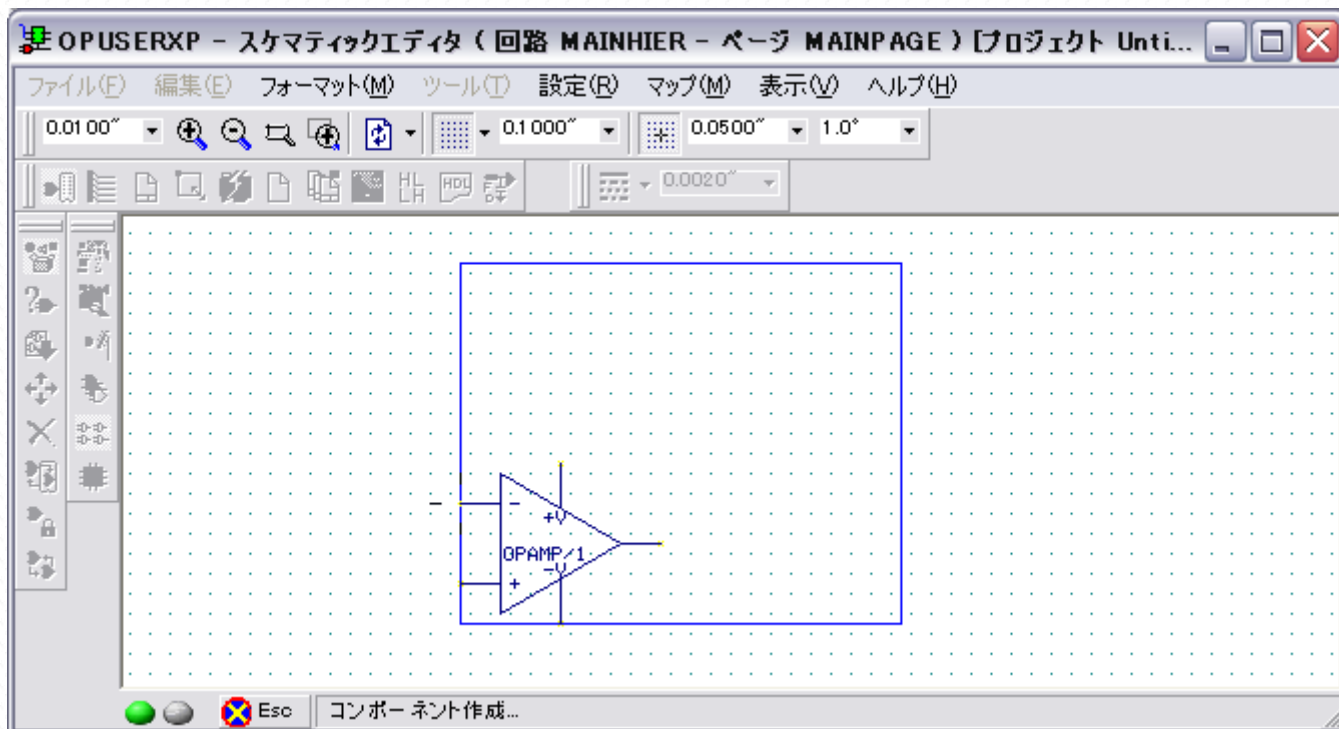
通常複数のシンボル（回路記号）が登録されている部品の場合、回路上へ配置する際にどの記号を配置するか選択する必要がありますが、インスタントパッケージング機能を使用すると、部品に登録されている回路記号全てをパッケージングした状態で配置する事ができます。



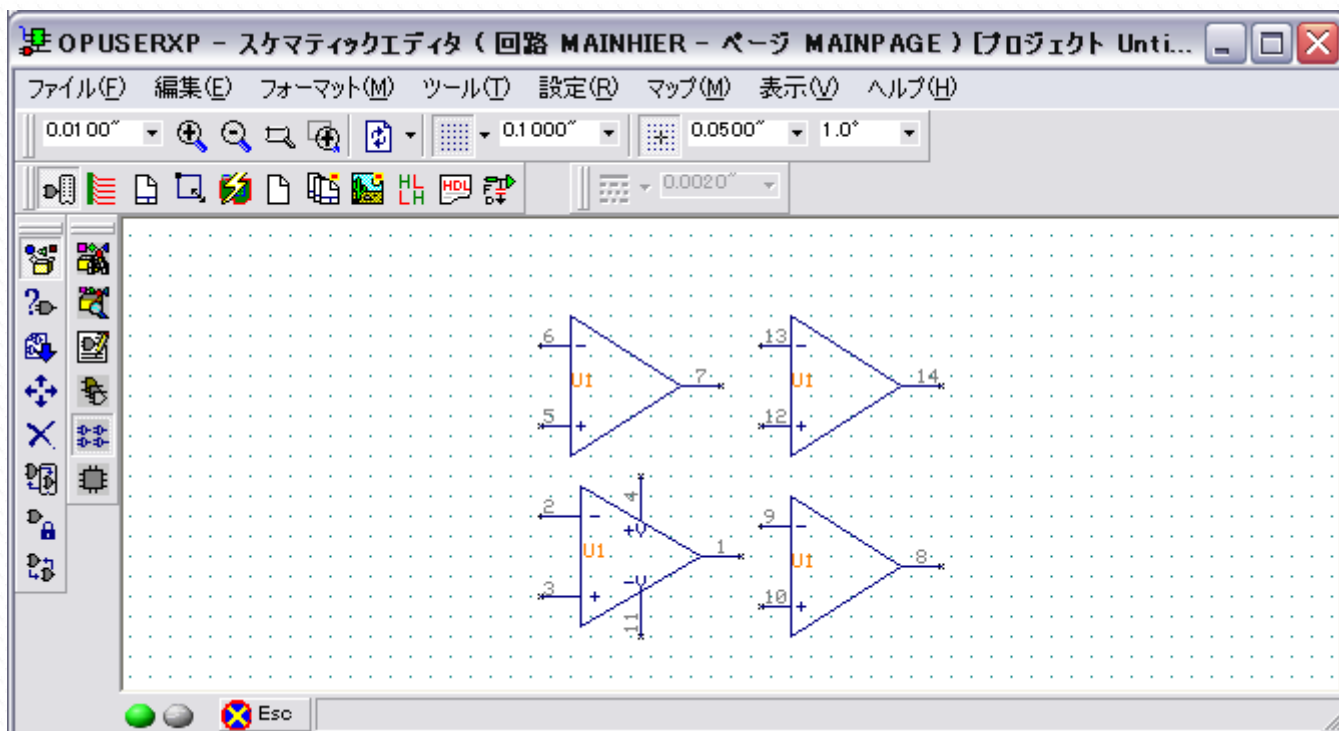
“設定／インスタントパッケージング”へチェックをいれます。



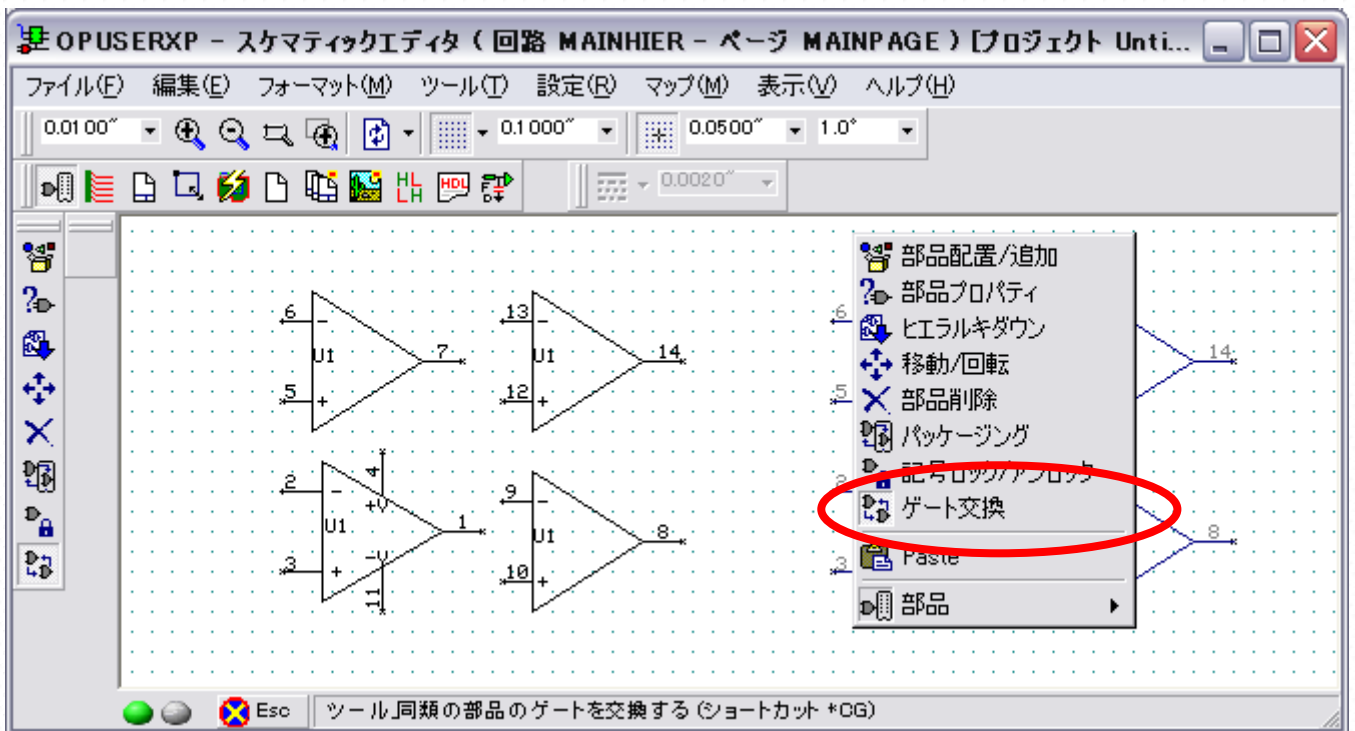
ライブラリから部品を引き出すと、回路記号がカーソルにセットされますが、インスタントパッケージングを有効にしていると、同時に枠が表示されます。



クリックして配置を行うと、回路記号がパッケージングされた状態で配置されます。



配置後に部品のピンナンバーを変更したい時には、“ゲートの交換”を使用して下さい。



ゲートの交換を使用すると、パッケージングされた記号の入れ替えが可能です。また同一部品であれば、U1/U2間であってもゲートの交換ができます。

